

2022年4月15日

各位

株式会社福井銀行
株式会社福邦銀行

「Fプロジェクト Vision 2032」の策定について

株式会社福井銀行（頭取 林 正博）と株式会社福邦銀行（頭取 渡邊 健雄）は、2022年4月から2032年3月の10年間を対象期間とするビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」を策定しましたので、概要をお知らせいたします。

記

1. 策定に至った背景

両行は2021年10月1日より1つの金融グループとしての運営を開始し、2ブランド体制を維持しながらそれぞれのお客さまに対する営業活動を継続してまいりました。今後、シナジー効果の最大化・最速化を図りながら、一層の地域の持続的発展を実現していくために、Fプロジェクト（※1）としてのビジョン「Fプロジェクト Vision 2032」を掲げます。

私たちを取り巻く環境は常に「脅威」と「機会」が表裏一体で存在しており、「脅威」を克服するために、そして「機会」を捉えるためには、これまで培ってきた強みを最大限に活かして、多様な「チャレンジ」に伴走していく必要があります。職員一人ひとりの「チャレンジ」、お客さまの「チャレンジ」に伴走し、地域内で生み出された価値（地域価値）が循環し続ける未来を実現していきます。そして、チャレンジに伴走した先に、4つのゴール（チャレンジゴール）を目指します。

（※1）福井銀行グループと福邦銀行グループの総称

2. 「Fプロジェクト Vision 2032」

Vision（ビジョン）…10年後のありたい姿

私たちは 職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し

「地域価値循環モデル（※2）」を実現します

Slogan（スローガン）…Vision（ビジョン）を端的に表現した合言葉

チャレンジ、いいね。

（※2）地域内で生み出された価値（地域価値）が「職員→お客さま→地域→Fプロジェクト→…」と循環し続けるモデルのこと

3. 期間

2022年4月1日～2032年3月31日

4. チャレンジゴール

職員・お客さま・地域のチャレンジに伴走した先に目指す10年後のゴールを、チャレンジゴールと定めます。

- ウェルビーイング（※3）を実感する職員の比率：100%
- 1人あたりの福井県民所得（※4）：+100万円
- 福井県活力人口（※5）：100万人
- 連結当期純利益：100億円

（※3）身体的・精神的・社会的に「より良い」状態にあること

（※4）個人や企業の所得を表す県民経済全体の所得のこと

（※5）「福井県長期ビジョン」で基本目標に掲げる人口の考え方で、交流人口・関係人口を定住人口に換算し、定住人口と足し合わせた人数のこと

5. Vision達成に向けた戦略

「Fプロジェクト Vision 2032」の達成に向けて、10年間の戦略（長期経営計画）と3年間の戦術（中期経営計画Ⅰ）を策定しております。両計画には未公開情報が含まれておりますので、2022年5月中旬を目途に詳細を公表いたします。

以 上



Fプロジェクト Vision 2032

お客さま起点のコンサルティング

私たちの強み

地域に対する熱い想い



地域やお客さまからの信頼



約2,500名の熱意のある人財



長期目線のお客さま支援



福井県内の高い預貸金シェア



福井県内の幅広いネットワーク

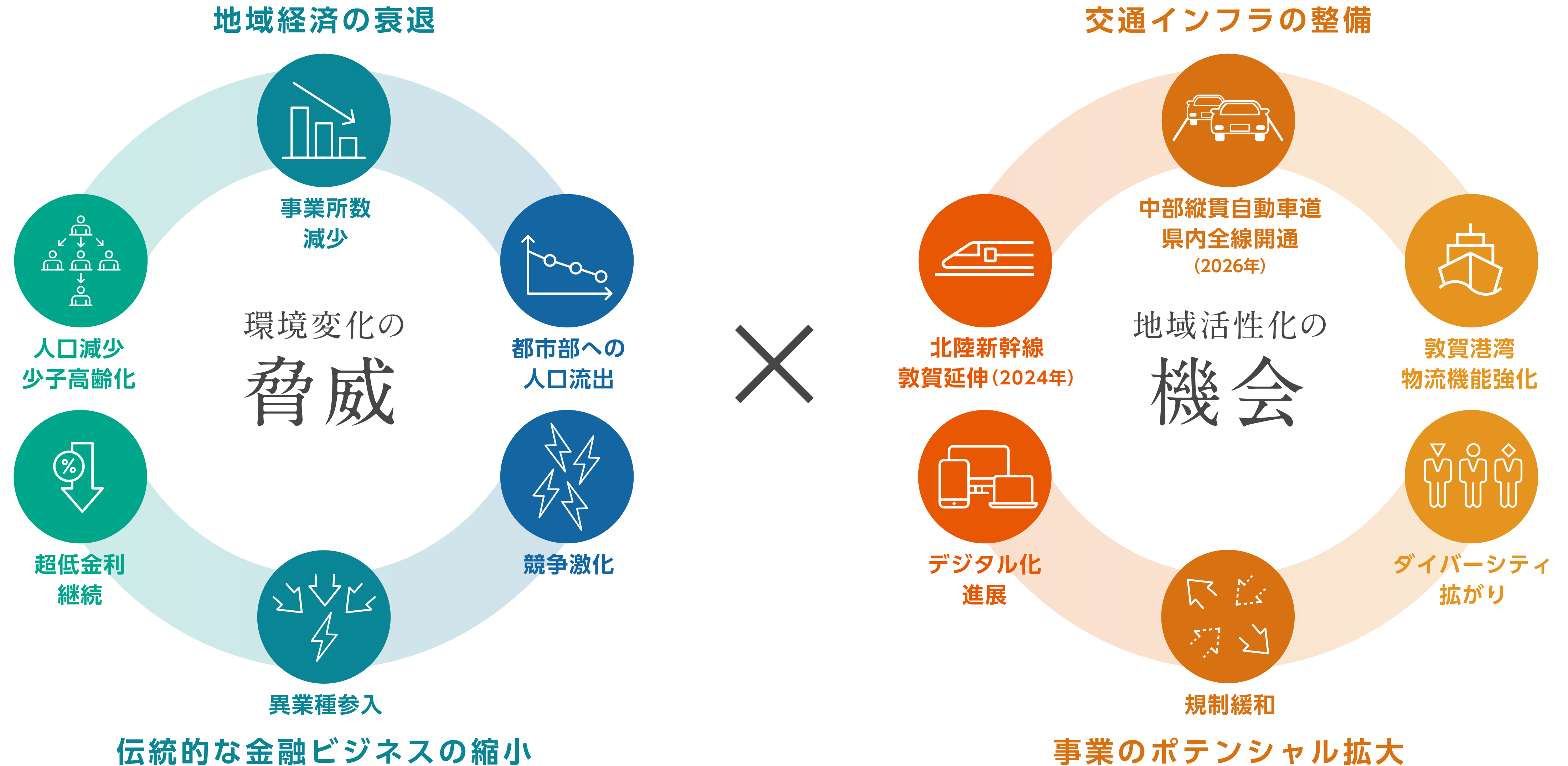


両行グループがそれぞれ培ってきた強み。

それらを融合して、1グループによる強みを最大限発揮します。

私たちを取り巻く環境

地域経済や金融機関を取り巻く環境は厳しさを増す一方、地域活性化につながるチャンスが目前に迫っています。



ビジョンに込めた想い

私たちの基盤地域である「福井県」、そして基盤業務である「銀行業」。

どちらも、将来を懸念する声があちらこちらから聞こえてきます。

でも、本当にそうでしょうか？

福井県にはもうすぐ北陸新幹線がやってきます。

アフターコロナでは、観光やビジネスでたくさんのお客さまがお見えになるでしょう。

銀行も業務の幅がどんどん広がります。お客さまや地域の発展のために、

これまでには考えられなかったサービスを提供することができるようになります。

そうです。私たちを取り巻く環境は常に「脅威」と「機会」が表裏一体で存在しています。

ビジョンに込めた想い

「脅威」を克服するために、そして「機会」を捉えるために、

私たちは、これまで培ってきた強みを最大限に活かし、多様な「チャレンジ」に伴走していきます。

職員一人ひとりが個性を発揮し、ウェルビーイングを実現するための「チャレンジ」に。

お客さまが課題を乗り越え、事業成長や資産形成を実現するための「チャレンジ」に。

地域の魅力度を高め、活力にあふれた地域を実現するための「チャレンジ」に。

そして、地域内で生み出された価値（地域価値）が循環し続ける未来を実現します。

Two men in blue suits are standing in a library, engaged in a conversation. The man on the right is gesturing with his hand while speaking. They are both wearing ID badges. The background is filled with bookshelves.

Vision

私たちは、職員・お客さまの多様なチャレンジに伴走し
「地域価値循環モデル」を実現します

Slogan

チャレンジ、いいね。

「地域価値循環モデル」

生み出された価値が 新たなチャレンジに循環

〔地域のチャレンジに伴走〕

活力にあふれた地域の実現



CHALLENGE

〔お客さまのチャレンジに伴走〕

事業成長や資産形成の実現



CHALLENGE

〔職員のチャレンジに伴走〕

ウェルビーイングの実現



CHALLENGE

チャレンジゴール

職員、お客さま、地域のチャレンジに伴走した先に、
4つのゴールを目指します。



ウェルビーイングを実感する
職員の比率

100%

1人あたりの福井県民所得[※]

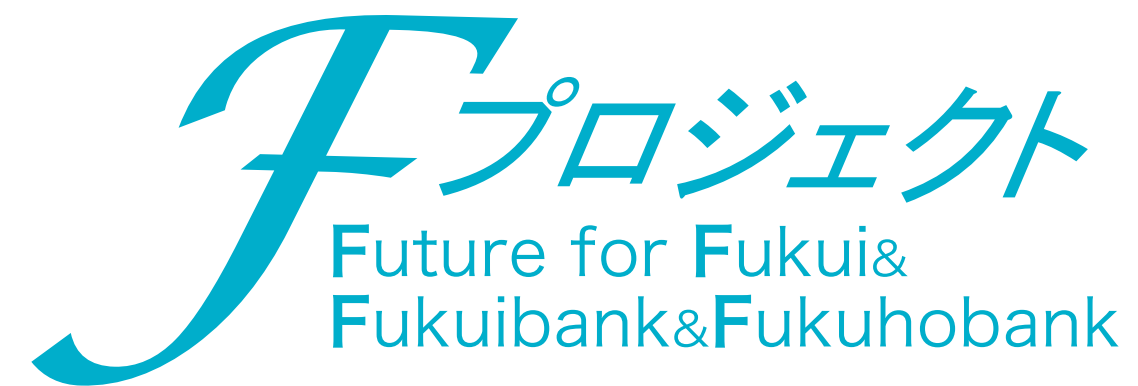
+100万円

福井県活力人口[※]

100万人

連結当期純利益

100億円



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

〈本資料に関する照会先〉

株式会社福井銀行 経営企画グループ 経営企画チーム

TEL:0776-25-8004 MAIL:fbk00101@fukuibank.jp

担当:宮越・安井・細川・松村